

様式第 8 号

研 修 等 報 告 書

平成 28 年 10 月 17 日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 天野 喜一郎 議員 大月 隆司
議員 大本 益之 議員 田口 忠義

下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】平成 28 年度 第 78 回 全国都市問題会議

| | |
|-------|--|
| 住 所 | 〒703-8274 岡山市中区門田本町 4-1-16 |
| 電 話 | 086-273-7311 |
| 案 件 | 平成 28 年度 第 78 回 全国都市問題会議 |
| 期 日 | 平成 28 年 10 月 6 日 (木) 9 時 30 分 から 17 時 平成 28 年 10 月 7 日 (金) 9 時 30 分 から 12 時 |
| 応 対 者 | 全国市長会 |
| 状 況 | 別紙写真のとおり |
| 訪問施設 | 岡山市 国際ホテル |
| 概 要 | <p>テーマ 「人が集いめぐるまちづくり」 国内外にひらかれた都市の活力創出戦略</p> <p>主報告 岡山市長 大森雅夫 氏</p> <p>○ 「人口減少社会における都市の活力創出」と題して同市の取り組みを発表。 市中心部の県庁通りを 2 車線から 1 車線に規制したり、西川緑道公園筋を歩行者天国にしたりする社会実験を紹介して「(実験が) 定着して、まちなかを訪れる人が増えている。歩いて楽しいまちづくりを充実させる」と述べた。</p> |

○ 平成 25 年度から移住定住支援室を設け、積極的に取り組んでいる。
岡山市と民間移住者支援団体や就職支援エージェントで構成する協議会立ち上げ、仕事・住まいをはじめとした様々な移住相談にワンストップで対応している。

平成 26 年度の岡山県への移住者は 1,737 人と全国 1 位となり、その 60% が岡山市である。

○ おかやまマラソン 平成 27 年 11 月 第 1 回 14,000 人

○ 岡山城と後樂園の連携・・・県と市の連携

| | | |
|---------|-----------|-----------|
| | 岡山城 | 後樂園 |
| 平成 25 年 | 197,000 人 | 659,000 人 |
| | ↓ | ↓ |
| 平成 27 年 | 292,000 人 | 817,000 人 |

○ 充実した保育サービスの安定確保

保護者の負担軽減の為、可能な限り利便性の良い園・所に通わせる工夫を検討している。

○ 健康福祉の向上を目的に健幸ポイントプロジェクトをスタート。

一般報告

1. 陣内 秀信氏

法政大学デザイン工学部教授

「人を惹き付ける都市空間とその文化力」

日本とイタリアの比較から 11 ポイントのテーマ

○ イタリアの建物を例にした、人が集まる街並みの工夫

都市のあり方、思想の転換、スプロールが都市の活力をなくす。

中心市街地の復活、ボローニャモデル。

世界遺産に認定された大聖堂を中心に

中世の面影を残す新旧の調和がとれた美しい小規模都市

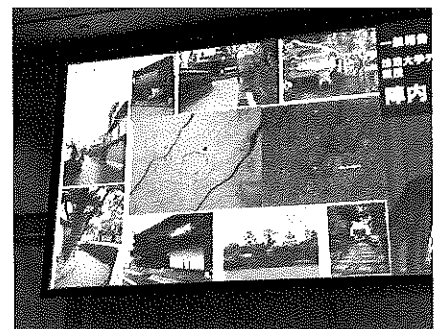
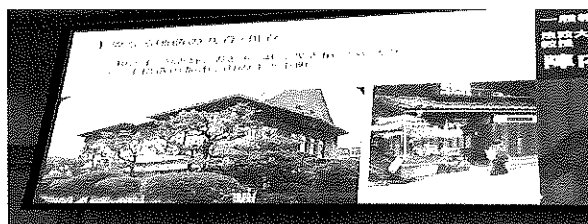
暮らしの場として歴史都市を保存再生した。



○ 都会(東京)でも古い建物を生かしつつ、近代的に保存、活用、転用している。

川越は、文化発信している。

地方では、石見銀山 大森町



概 要

○ 水辺空間の発見、再生・・・水の都市区間蘇ってきた。

ウォーターフロントの再生

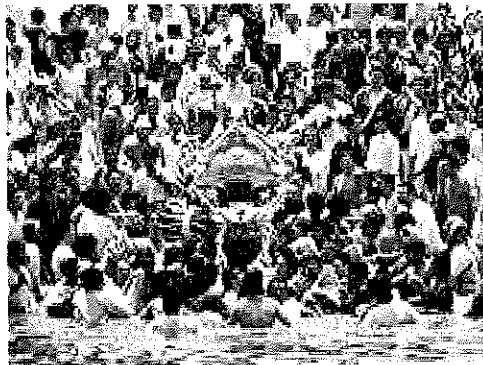
まちづくりの最先端は、水辺。 ミズベリング

目黒川周辺、町工場ばかり、暗いイメージからオシャレな街に。

お台場・・・水に入る神輿、立体的な水辺。

お台場

目黒川

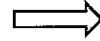


品川の水辺

寺田倉庫のフローディングレストラン

水辺にはマンションだけではない

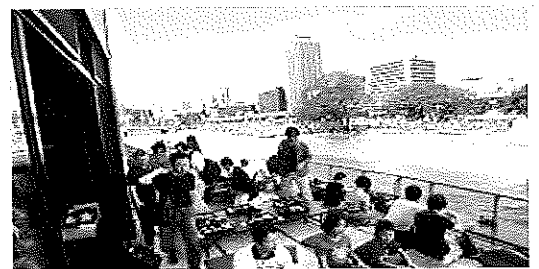
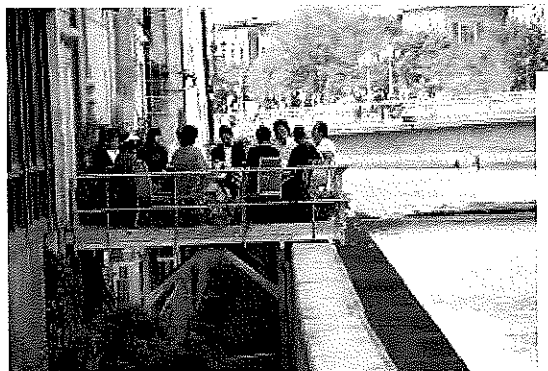
もっと多様化した取り組み。



※大阪の水辺、規制を緩和、河川法改

定でできるように。後押し。

北浜テラス。



概要

○ 小さなスケールが連動する顔の見える街

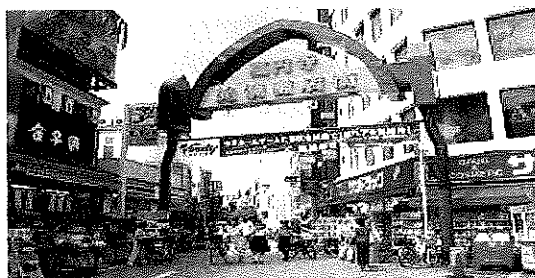
大資本の入らない小さな店が頑張っている。

段差が一つあるだけで、車入らない。

田園の風景、地産地消国立市で試み 谷保の農業ゾーン

高円寺

谷保

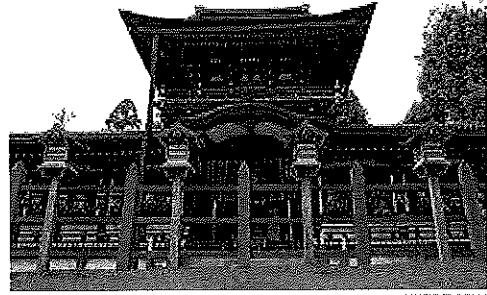
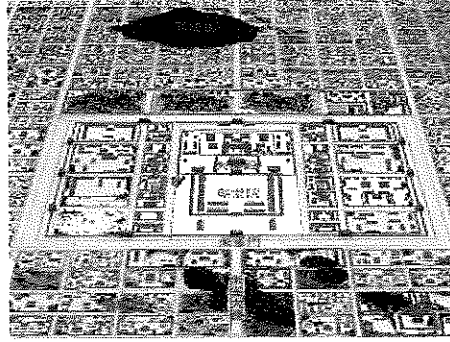


2. 森下豊氏

奈良^{かしはら}県橿原市長

交流とにぎわいのまちづくり

○ 初代神武天皇が即位した地、日本で初めての都城「藤原京」。



○ 奈良モデル推進

県と市町村の役割分担のあり方について、まちづくりに関する連携協定を締結し、相互に連携して事業を進めている。

駅・病院・公園などの拠点を中心としたまちづくりを進めている。

消防の広域化、市町村サミット・・・県も口を出す。金も出す。

地域交通の確保、日本一長い路線バス残す。ゴミ処理体制の構築。水道事業の連携。県立病院他

○ 駅前周辺のまちづくり

奈良県、魅力8位。

宿泊者数宿泊施設全国最下位。

ホテルと庁舎、PFI方式での取組中。

※宿泊業者は外からの参入拒み、34店

あった旅館も現状2店で、それでも

民業圧迫。

なんとか納得してもらい平成30年完成。



○ 飛鳥デザインウィーク

飛鳥地域の郷土愛を創出するだけでなく、日本人が持つアイデンティティを再発見する日本ブランディングプロジェクト。



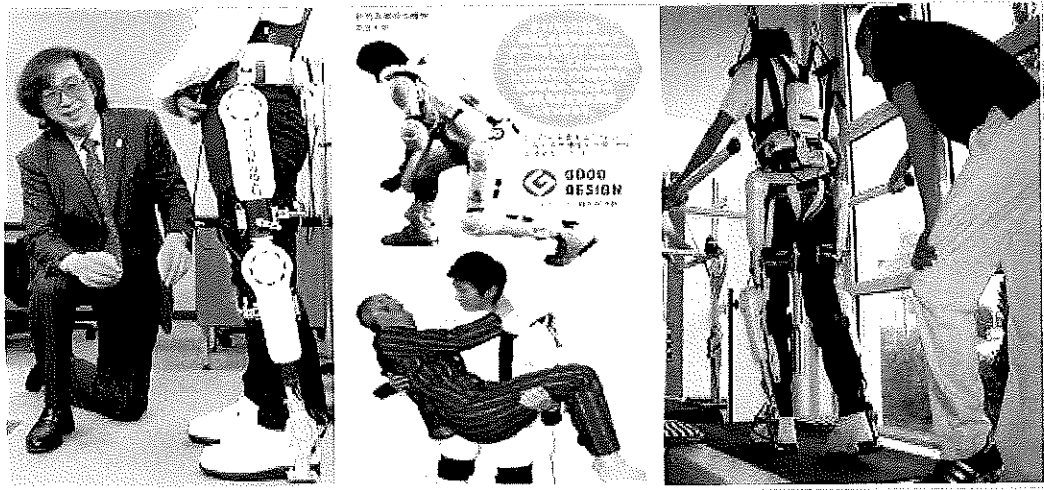
**ASUKA
DESIGN
WEEK**

3. 山海 嘉之 氏

筑波大学大学院システム情報工学研究所教授

syberdyne 株式会社代表取締役 CEO

「革新的西馬ニックシステムによる社会変革・未来開拓への取り組み」



・・・まずは化学・医療・介護分野の技術に感銘した。・・・

○ 筑波大学のロボットスーツの発明開発者

大学ベンチャーとしてサイバーダインを設立。

ロボットスーツ「HAL」を開発した。HALは脳卒中や脊椎損傷で歩くことが困難になった人々の機能回復トレーニングなどに使われている。

HALは装着する人の「意思」を感知して立ち座りや歩行動作をアシストする画期的な自立動作支援ロボット

日本では医療機器として認可されていないために福祉機器扱いだが、すでに500体が全国160の医療機関などに導入されている。

ドイツでは医療機器として正式に承認され本格的な治療も始まっている。

さらに、脳科学や神経学、心理学などさまざまな領域に合わせて、人の意思通りに動くロボットスーツをつくり上げ、それが評価されている。

脳卒中、ポリオ(急性灰白髄炎)など一般的医学で不可能と言われた方達(お年寄り～子供)もHALにより回復してきている。

また介護者や肉体労働者がスムーズに動くことが可能となっている。

○ 高齢化、お金をかけただけでは解決できない。

○ 重介護ゼロ社会への挑戦。残存する能力を高め、支援デバイスを強化。

○ 医療産業大きなマーケット。

○ 革新技術、許認可出す人ルールなく止まる。

よってiOSには入り、世界ルールを作った。

○ 医療費や介護費の削減が可能となる。

| | |
|------|--|
| 概 要 | <p>【基調講演】</p> <p>池内 紀氏 ドイツ文学者でエッセイスト 「まちの見方、見つけ方」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ドイツのまちづくりと日本のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・戦後のドイツと日本の政治の違いを強調した。 ・ドイツ政府はアウシュビッツ裁判を自ら行ったこと。 また福島第一原発の事故に学んでドイツでは原発に依存しない政策をすぐに実行したこと。 ・戦後日本人の名前が大きく変わった。世界では日本のみ。 ・日本は前例がない等、前例主義の面があるが、ドイツ人は「倫理上許されない」等、倫理を大切にしている。 ○ 記憶させないと歴史が途切れると考えている。ドイツの町並みはかつてあった歴史のままの外観を復元している。 ○ 町歩きが大切。公共交通に乗る。その乗客の会話聞く。図書館で雰囲気を知るなど。そこから見つける。 <p>1. パネルディスカッション</p> <p>コーディネーター 西村幸夫教授</p> <p>パネリスト</p> <p>工藤裕子 中央大学法学部教授 木下 斉 一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事 木村正明 ファジアーノ岡山代表取締役 本間源基 ひたちなか市長 末松則子 鈴鹿市長</p> <p>テーマ 人が集いめぐるまちづくり・・・活力創出戦略</p> <p>鈴鹿市長・・・モータースポーツ都市とし賑わいを創出 ひたちなか市長・・・港を活かした企業誘致や鉄道の延長など活力を創出 木村正明 氏・・・ツポースクラブを創業し市民・県民の支援者を募っている。 工藤裕子 教授・・・アート・イベントがもたらす地域への効果と課題 木下 斉 代表理事・・・稼ぐ自治体づくり。民間活用・・・(国・県に頼らない) ※詳細については、別冊資料参照</p> |
| 参考資料 | 別冊 |

◎研修内容を本市へあてはめ、これからの事業などへ反映していきたい。

| | |
|----|--|
| 状況 |  |
|----|--|